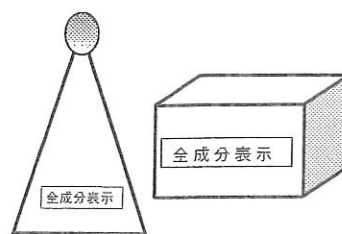


全成分表示の実施

化粧品に含まれている全ての配合成分名を化粧品の容器、又は化粧箱に表示するという新しい制度が本年4月1日より実施されました。今までは『表示指定成分』の表示が義務付けられていましたが、薬事法の改正により商品に対するメーカーの責任表明として化粧品に配合されている全ての成分をお客様に情報公開することになりました。全成分表示は、平成13年4月1日以降義務付けられましたが、それ以前に市場に発売された商品には猶予期間があり、平成14年9月30日までに実施すればよいことになっています。しばらくは全成分表示されている商品とされていない商品が混在することになるでしょう。今後、新しく資材を発注する際などに全成分表示を印刷することをお勧めします。全成分表示をシールで行うこともできます。



ってなあに？

このマークは『容器包装識別表示』といわれるもので、その容器や包装がどんな材質でできているかを表しています。化粧品の『容器包装識別表示』は、消費者のゴミ分別がより積極的に、よりスムーズに行われるよう化粧品業界の統一表示としてプラスチック製、紙製の容器包装から開始されています。この表示は【容器包装リサイクル法】に基づいたものです。

素肌への思いやり

楽しい夏のバカンスで、こんがり焼いてしまった肌。思いがけず旅先で、うっかり日焼けしてしまった肌。特に、日焼けするような行動をとらなくてもまいにちの生活の中で容赦なく浴びてしまった紫外線と汗は、気づかないうちにずいぶん肌をいためています。そんな肌の疲れは、この季節になってさまざまな形で現れます。日焼け後のメラニンの増加によって、いつのまにか黒ずんだ肌になってしまったり、シミやソバカスが増えてしまったり...。一刻も早くお手入れして美しい肌を取り戻すようにしてください。余分なメラニンを表皮に残さず、色白の肌を保つには新陳代謝をよくすることが重要です。普通28日の周期で皮膚の細胞は生まれ変わります。しかし、真夏の過度な紫外線や睡眠不足、冷房などは、この新陳代謝を鈍らせる原因となっています。肌をいきいきと行き返らせるためには、まず、クレンジングで古い角質や皮脂の汚れを十分に洗い流して清潔に。

その上で、パックやマッサージで肌を活性化させることが大切です。ローションや美容液（エッセンスで十分な水分と栄養を補給することも忘れずに。

秋の訪れとともに、ひんやりとした風を感じることも多くなってきます。



秋の肌

灼熱の夏が去った後にやってくるのが肌のトラブル。この季節、私たちの肌と髪には紫外線や冷房、不規則な生活がもたらした夏の疲れが確実に現れてきます。秋のお手入れは癒しのケア。肌には、うるおいたっぷり補給とキメ細やかな美白、失われたパワーを取り戻すための集中ケアを。枝毛、切れ毛といった髪のダメージには、髪の健やかさを取り戻すヘアケアが必要です。品質の良い化粧品で肌や髪に負担をかけずケアすることが重要です。豊さがいっせいに輝く秋という季節を誰よりも満ち足りた笑顔ですごすために、毎日よい化粧品で丁寧にお手入れすることが大切です。乾燥は肌の大敵、乾燥肌にならないために肌に十分な潤いを補給しましょう。

パウチ商品

パウチ（小袋入り）充填機が新しく導入され、お客様にご利用いただいております。サンプル品（見本品、試供品）や使い方、容器の簡便性を考慮したパウチ商品の商品化に威力を発揮しております。内容量は、0.5～30g（ml）まで、袋のサイズも4.5cm×4.5cmから10cm×20cm位まで幅広く使えます。拡販のためのサンプル商品の製造が安価でできます。サンプル商品化に際しては、できるだけ便宜をはかっておりますのでご相談下さい。